



# 4つて子応援団



## 【 6年生のキャリア教育 】

### ～未来の自分をかんがえてみよう！～

### 社会にはどんな職業あるのか聞いてみよう

平素は4向小ならびに校区諸団体の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。  
さて、1月25日（土）3・4校時の授業において、6年生を対象としたキャリア教育を実施しました。このキャリア教育は、様々な職業で働いている方との交流を通して、子どもたちがその職業の良さや苦勞を聞いたり、働く人の生き方や想いに触れ、自分の将来の夢や、やりたい仕事について考えるきっかけになることをねらいとしています。

この活動は、地域の方をはじめ、ご協力いただいた多くの方々に支えられていることを実感できる誇りある活動となっています。

今回は、ご自身のお仕事を紹介していただける11業種の方を講師としてお招きして、「働くこと」「仕事のやりがい」などお話をいただきました。

授業では、子どもたちが各自興味をもった職業を「2つ」選択して順番に講義を受けます。子どもたちは取材メモを持ち、それぞれの職業について興味深く話を聞いていました。

「学ぶこと」「働くこと」「生きること」を考え、将来に結びつけてくれることを期待しています。

## 今回学んだ職業紹介

1. 薬剤師
2. 看護師（NICU）
3. 自動車整備士
4. 消防士
5. 調理師
6. 航空整備士
7. 銀行員
8. ドッグトレーナー・トリマー
9. 電車の運転手
10. 鍼灸師・柔道整復師
11. 客室乗務員（CA）

講師のみなさま お忙しい中ご協力ありがとうございました。



## ～ 次年度も活動継続します ～

学校支援ボランティアさんを募集します！

子どもたちの学びの場を支える活動に参加しませんか？授業支援、環境整備活動などこれから様々な支援を企画していきますので、是非みなさんのお力を活かしてください！

【お問い合わせ】第4向陽小学校 横井教頭・青野教務主任（TEL075-933-3388）



## 授業のようす

### ドッグトレーナー・トリマーの説明

最近「グルーマー」と言うそうですが、トリミングなど犬の手入れを行う職業です。愛犬を美しく健康に保つための施術や健康チェックを行います。シャンプーは2週間に1回程度、下あごは痛みを感じないので皮膚をつかんで顔回りのケアをします。安心してお手入れができるように「しつけ」も行います。犬同士で目が合うと喧嘩になりますが、犬が人間と目を合わせるのは信頼している証拠だそうです。犬の嗅覚は人間の1億倍、知能指数は5歳とされています。トレーニングで使う言葉は統一することが大事です。例えば「おすわり」「すわれ」「すわって」など一貫性のないことはやってはいけません。



ミニチュアダックスのメアです♪  
ママのお手伝いに  
来ました！



### 看護師（NICU）の説明



赤ちゃんは平均37～41週目、約3kgで生まれるそうですが、誰もが健康に生まれてくるわけではなく、小さく生まれたことで命に危険が及ぶこともあります。

中には25週目で体重わずか265gで生まれた赤ちゃんもいます。3kgと同じ重さの人形と、265gの人形との違いを見てみんな驚いていました。NICUの看護師さんはお母さんの代わりになって、必死に赤ちゃんの命を支えお世話をします。未来ある赤ちゃんのために夜も交代で勤務されています。



### 薬剤師の説明

薬剤師は病院や薬局に勤務し、処方せんに従ってお薬を調剤するお仕事です。薬はジュースと一緒に服用すると、薬の効果に影響が出たり副作用が出るととても危険なので、患者さんに薬の飲み方や効能についてわかりやすく説明しなければいけません。薬の調剤で使う道具を実際に見せていただきました。薬剤師になるためには、たくさん勉強をして、大学の薬学部で6年間学び、国家試験に合格しなければなりません。



### 銀行員の説明

銀行ってどんなところ？

銀行の種類から利息や為替のお話まで、お金の流れをわかりやすく話してくださいました。銀行員で一番大切にしていることは「お客様との信頼関係」だそうです。約束は必ず守り、信用していただけるよう努力されています。模擬紙幣を使ったお札の数え方を教えていただき、その記念に模擬紙幣と紙めくりクリームをプレゼントしていただきました！

子どもたちからは  
「ATMの中はいくら入っているの？」  
「銀行員の年収は？」  
「泥棒がきたらどうするの？」  
「お客様は何人いるの？」  
と様々な質問がありました。



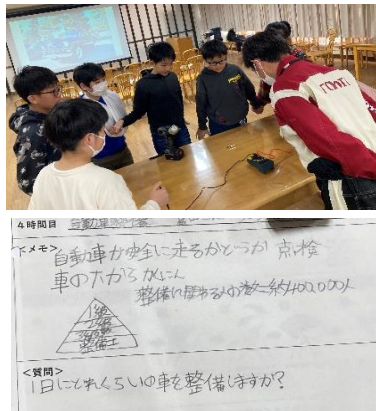
裏面もみてね⇒





## 自動車整備士の説明

自動車整備士は車のお医者さんです。車の安全を守るため、整備、点検、修理などを行い、人の命を守るお仕事とも言えます。1級から3級の資格があり、整備士全体の40万人のうち1級保有者はたった3%。専門性の高い技術で国家資格となっています。故障を診断するために電圧測定をしますが、目に見えない電気を測るにはどうすればいいのでしょうか？自分たちの体に流れる電気の抵抗を測る実験をやってみました。握る手の水分量によって流れる電流は変化することが分かりとても勉強になりました！



## 鍼灸師・柔道整復師の説明

今年も向日市の鍼灸整骨院「TREE」の先生に来ていただきました。柔道整復師と鍼灸師そしてスポーツトレーナーとして活躍されている先生です。骨折や脱臼、捻挫、肉離れといった怪我は柔道整復師、肩こりや腰痛は鍼灸師が診ます。実際に怪我の予防や回復で使うテーピングや鍼灸で使う針を見せてもらいました。スポーツトレーナーは、スポーツする人に向けて筋力を強化するトレーニング、柔軟性を高めるトレーニング、バランス感覚を高めるトレーニングなど身体面をサポートする仕事です。子どもたちから「猫背を治す方法は？」「頭痛の治し方は？」と体の不調に対する質問がありました。



## 航空整備士の説明



航空整備士になるために航空専門学校で勉強をされ、現在はANAで活躍されています。飛行機の機体やエンジンの整備、点検、修理を行い、人々の空の旅を支える職業です。機体の安全はもちろん、交通機関として定時刻を守る社会的責任もあります。「なぜ飛行機は空を飛べるのか？」と疑問に思い興味を持ったことがきっかけになり、航空整備士になったそうです。飛行機が空を飛ぶのは「ベルヌーイの定理」といって、翼の形を変えることで空気の流れを変え、重力に打ち勝つことで機体が浮くという仕組みになっています。その原理を使ってよく飛ぶ紙ヒコーキを作ってみよう！ということで作り方を教えていただきました。みんなで教室の端からどれだけ遠く飛ばせるかチャレンジしました！



## 客室乗務員（CA）の説明



客室乗務員は、お客様が快適にフライトを楽しめるようおもてなしをすることですが、安全を守るための保安業務はお客様の命に直結する最も重要なお仕事です。国内線は1日3～4便乗務しますが、早い時は朝3時に起きて出勤します。出発前に乗務クルーで集まって、安全確認・配慮が必要なお客様の確認・装備品・医療品のチェックをして出発します。宿泊する時もあり、宿泊先では地元の食事を楽しめるそうです。学生時代に英語を頑張ってお勉強され、高校で進路を考えた時、好きな英語を活かせる仕事をしたいと考えCAを目指したそうです。最後にスカーフの巻き方を教えていただき、CAになった気分を楽しむことができました。

## 調理師の説明



洋食屋を経営する調理師さんに、みんなが大好きな「オムライス作り」を実演してもらいました。美味しい匂いが漂い、「おいしそう！」「食べたい！」「一口だけ！」と大盛況でした。調理師になるために、料理の勉強をしているんなお店で実務経験を積んでこられました。いつか自分のお店をもちたいと願うようになり、洋食屋を開業され夢をかなえられました！ソースの作り方など、プロの味に仕上げるコツを教えてくださいました。



## 阪急電車の運転手の説明

はじめに「4向きのすぐそばを通る阪急電車、その周りにはたくさん人の踏切や信号機があります。駅のホームには安全を守る色々な設備があります。今日は身近にある踏切の名前や安全装置・信号機の呼び方と意味を覚えて帰ってください」と説明がありました。電車の運転手になるためには、しっかり勉強をして、甲種電力車運転免許証という国家資格を取得しなければいけません。今は女性の運転手もいるそうです。多くの人命を預かる仕事なので責任感が必要です。電車は時刻表どおり運行しなければいけないため、時間管理は重要な任務です。秒単位で管理されている時刻表を見てみんな驚いていました。電車のブレーキをかけるタイミングも瞬時に判断しなければいけません。制動距離の計算方法は(時速)×(時速)÷20。例えば時速100kmの場合、100×100÷20=500m手前からブレーキをかける計算になります。ちょうど教室を出た廊下から阪急電車が見えるので、実際の時刻表通りに通過することを知り、ブレーキのタイミングがバッチリ合っていることを確認することができました。



## 消防士の説明

向日市消防署より来ていただき、消防士の仕事内容や、大変なこと、やりがいなどをお話していただきました。消防士は、消火・防火・救助・救急など人の命を救い安全を守る活動をしています。消防署は3つのチームで構成されていて、勤務日数は月10日間、24時間交代制で勤務します。乙訓消防の職員は全員で185人。乙訓地域の管轄人口15万人を守っています。出勤する時の防火服の装備は約10kg、それに背中に背負う「空気呼吸器」を含めると20kg以上にもなり、その状態で人命救助を行うのはとても重労働です。消防士は仕事の中で訓練やトレーニングをして身体を鍛えているそうです。防火服や空気呼吸器を実際に着用して、この状態で走ることができるか体験してみました。色々な現場に遭遇しますが、助かった人から「ありがとう」と言われた時が嬉しくてやりがいを感じますと言っておられました。



重くて走れない～！

